

cite パッケージ

cite パッケージは L^AT_EX の文献参照の様式を大きく拡張するもので、次のような機能を提供します。

- 通常の [2, 3] といったインライン引用形式に加え、上付きの形式（デフォルトではカッコの付かない^{2, 3} という形式になります）でもタイプセットできます。
- 引用が複数項目ある場合、それらは上昇順にソートされると共に、3 つ以上の連番は圧縮形で表示されます。通常の L^AT_EX では引用キーの入力順序によっては [2, 6, 4, 7, 3] といった形式になり得ますが、本パッケージを使用すると [2-4, 6, 7] もしくは^{2-4, 6, 7} のようにソートされた形でタイプセットされます。
- 上付きの場合にカッコを付加したり（例：^{2, 3}）、インラインの場合の鍵カッコを外したりといった、木目の細かな様式調整が可能です。

1. 標準 L^AT_EX 様式

cite パッケージを付加しない場合の文献参照様式は次のようになります。

	参照側	文献リスト
key のみ指定	文献 [1] 文献 [2, 3, 4]	[1] Document description 1 [2] Document description 2 [3] Document description 3 [4] Document description 4
key + label 指定	文献 [label1] 文献 [label2, label3, label4]	[label1] Document description 1 [label2] Document description 2 [label3] Document description 3 [label4] Document description 4

2. cite パッケージの様式

cite パッケージを使用した場合の文献参照様式（基本形）は次のようになります。

	参照側	文献リスト
key のみ指定	文献 [1] (インライン) 文献 [2-4]	[1] Document description 1 [2] Document description 2 [3] Document description 3 [4] Document description 4
	文献 ¹ (上付き) 文献 ²⁻⁴	
key + label 指定	文献 [label1] 文献 [label2, label3, label4]	[label1] Document description 1 [label2] Document description 2 [label3] Document description 3 [label4] Document description 4

3. パッケージオプション

数多くのパッケージオプションが用意されていますが、ここでは主だったものを紹介します。詳細は *cite.sty* モジュール末尾の仕様説明部を参照ください。

package option	default	機 能
[superscript]	no	上書きの引用形式を使用する
[nosort]	[sort]	ソートを抑止する場合に指定する
[nomove]	[move]	上付きの引用を句読点より前に持ってくる場合に指定する *1
[nocompress]	[compress]	連番を圧縮する機能を抑止する場合に指定する

*1 引用の直後に半角の句読点 (. or ,) があつた場合、これらの句読点は上付き引用より前に配置されます。これを避けたい場合に [nomove] を指定します。ただし日本語の句読点 (. や ,) は認識されないため、上付き引用の前に来ることはありません。

4. コマンド

cite パッケージが規定する各種コマンドを再定義することで引用の様式を変更できます。以下に代表的な例を示しますが、詳細は *cite.sty* モジュール末尾の仕様説明部を参照ください。

▶ インライン引用でカッコの形状を変更する

`\citeleft`, `\citeright` コマンドを再定義することによってカッコの形状を変更できます。例えば () に変更する場合には次のコマンドをプリアンプルに設定してください。なお、これらのコマンドは上付

き引用の形状に対しては影響を及ぼしません。

```
\renewcommand\citeleft{()}
\renewcommand\citeright{}
```

- ▶ ラベル引用の場合に [] を付けないようにする
 プリアンブル中に次のコマンドを設定することでインライン引用部の [] を除去することができます。

```
\let\cite=\citen
```

- ▶ 上付き引用で個々の数字をカッコ付きにする
 プリアンブル中に以下のコマンドを設定することにより、上付き引用の数字をカッコ付き（例えば、文献⁽¹⁾ や文献⁽²⁾⁻⁽⁴⁾）にできます。

```
\renewcommand\citeform[1]{(#1)}
```

- ▶ 上付き引用の末尾に右カッコを付ける
 プリアンブル中に以下のコマンドを設定することにより、上付き引用の末尾に右カッコを付加することができます（例えば、文献¹⁾ や文献²⁻⁴⁾）。

```
\makeatletter
\def\@citess#1{\textsuperscript{#1}}
\makeatother
```

